

平成 30 年 6 月 12 日

コンサルタント会社 御中

一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会関東支部

### 平成 30 年度 ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内

拝啓、立夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は日本ダクタイトイル鉄管協会に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会関東支部では、上下水道管路の更新をめぐる様々な状況の中、上下水道管路の更新促進並びに高機能化を目指すべく、ダクタイトイル鉄管の技術的検討および広報活動を継続的に行っております。

その活動の一環として、弊協会関東支部におきまして、今年度もコンサルタント会社の皆様を対象に「ダクタイトイル鉄管技術講習会」を下記の要領にて開催することに致しましたので、多数様のご参加をお待ちしております。

敬具

#### 1.日時、講習内容

	実施日	時間	講演テーマ	備考
第 1 回	6 月 22 日(金) 別途案内済	13 : 30～17 : 00 (13:00 より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の基礎知識	実務経験の浅い方が対象です
			テーマ② ダクタイトイル鉄管の管路設計上の留意点	
第 2 回	7 月 10 日(火) 今回申込み	14 : 00～17 : 00 (13:45 より受付)	テーマ① マンホールふた試験検証施設の見学 (展示室、輪荷重試験、耐スリップ性試験、材質試験、水理モデル実験、浮上試験)	下水道事業に関わる方が対象です
			テーマ② 下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査診断技術導入ガイドライン(案)の説明	
第 3 回	9 月 25 日(火) 後日申込み	10 : 30～16 : 20 (10:00 より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の製造現場の見学	ダクタイトイル鉄管の製造や接合をご存じない方が対象です  作業服が必要
			テーマ② GX 形・NS-E 種管の接合デモンストラーション	
			テーマ③ GX 形・NS-E 種管の接合実習	
第 4 回	11 月 30 日(金) 後日申込み	13 : 15～17 : 00 (12:45 より受付)	テーマ① 耐震型ダクタイトイル鉄管の概要と設計上の留意点	設計実務者が対象です  筆記用具、電卓が必要
			テーマ② GX 形・NS-E 種管の設計演習	

注) 第 3～4 回の技術講習会の参加申し込みは、後日、改めてご案内いたします。また、講演テーマが変更になる場合がありますのでご了承願います。

## 2.会場

株式会社 G&U 技術研究センター

住 所：埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157)

電話番号：TEL049-299-1028

**\*アクセスは別添資料をご参照ください。**

注) 第 3 回はクボタ京葉工場 (船橋市栄町 2-16-1)

第 4 回は日本水道会館 (東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 9 号) で開催予定です。

## 3.参加費

講習会の受講費は無料とさせていただきます。(ただし、会場までの交通費等は各自でご負担願います。)

## 4.参加申し込み

添付「参加申込み書」に必要事項を記入のうえ、**6月26日(火)**までに、「参加申込み用メールアドレス」にメール送信をお願いいたします。

お申込みいただいた場合には、参加申込みメール受信後 1 週間以内に弊協会より申込み受付完了のメールを返信させていただきますので、弊協会より申込み受付完了メールが返信されない場合は、宍倉までお問い合わせをお願いします。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、1 社当たりの参加人数を 3 名様までとし、参加申込み数が定員(30~40 名)になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

「参加申込み用メールアドレス」

y-shishikura@jdpa.gr.jp (日本ダクタイトイル鉄管協会 関東支部 宍倉)

## 5.連絡先

何かご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

日本ダクタイトイル鉄管協会 関東支部 宍倉 TEL 03-3264-6654

## 6.スケジュール

第2回／7月10日(火)

時間	内容	講師	備考
13:45～14:00	受付		15分
14:00～14:10	開催挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	10分
14:10～15:40	テーマ① マンホールふた試験検証施設の見学 (展示室、輪荷重試験、耐スリップ性 試験、材質試験、水理モデル実験、浮 上試験)	G&U 技術研究センター 説明員	90分
15:40～15:50	休憩		10分
15:50～16:40	テーマ② 下水道圧送管路における硫酸腐食箇所 の効率的な調査診断技術導入ガイドラ イン(案)の説明	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	50分
16:40～16:55	質疑応答	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	15分
16:55～17:00	閉会挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	5分

注) 第3回【9月25日(火)】、第4回【11月30日(金)】に開催予定のスケジュールについては、後日、ご案内いたします。「ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内」にてご確認ください。

## 7.CPD プログラム認定について

本技術講習会は CPD プログラム認定は実施しておりません。  
ただし、ご希望の方には、受講証明書を発行させていただきます。

## 【参加申込み書】

一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会

関東支部 宍倉 行き

申込みメールアドレス： [y-shishikura@jdpa.gr.jp](mailto:y-shishikura@jdpa.gr.jp)

「平成 30 年度 ダクタイトイル鉄管技術講習会」参加申込み書

\*\*\*\*\*

下記のとおり、参加を希望いたします。

- ・所属会社・部署名と氏名を下表にご記入願います（経験年数は任意）。
- ・参加人数は 3 名様までとし、参加申込み数が定員となり次第、申込みを締め切らせていただきます。
- ・申込み完了後の変更については、「[y-shishikura@jdpa.gr.jp](mailto:y-shishikura@jdpa.gr.jp)」までご連絡をお願いします。

※参加申込みの代表者氏名（問合せ窓口）： \_\_\_\_\_

	会社・部署名	氏名	経験年数	受講証明書
第 2 回 7 月 10 日 (火)				必要・不要
				必要・不要
				必要・不要

注 1) お車でご来場の方は、駐車台数に限りがあるため、お車の台数をお知らせください。

注 2) 第 3～4 回の技術講習会の参加申込みは、後日、改めてご案内いたします。

以 上

## 別添資料

## 会場までのアクセス

### <所在地>

〒350-0164  
埼玉県比企郡川島町大字吹塚732-157  
TEL 049-299-1028 (代)

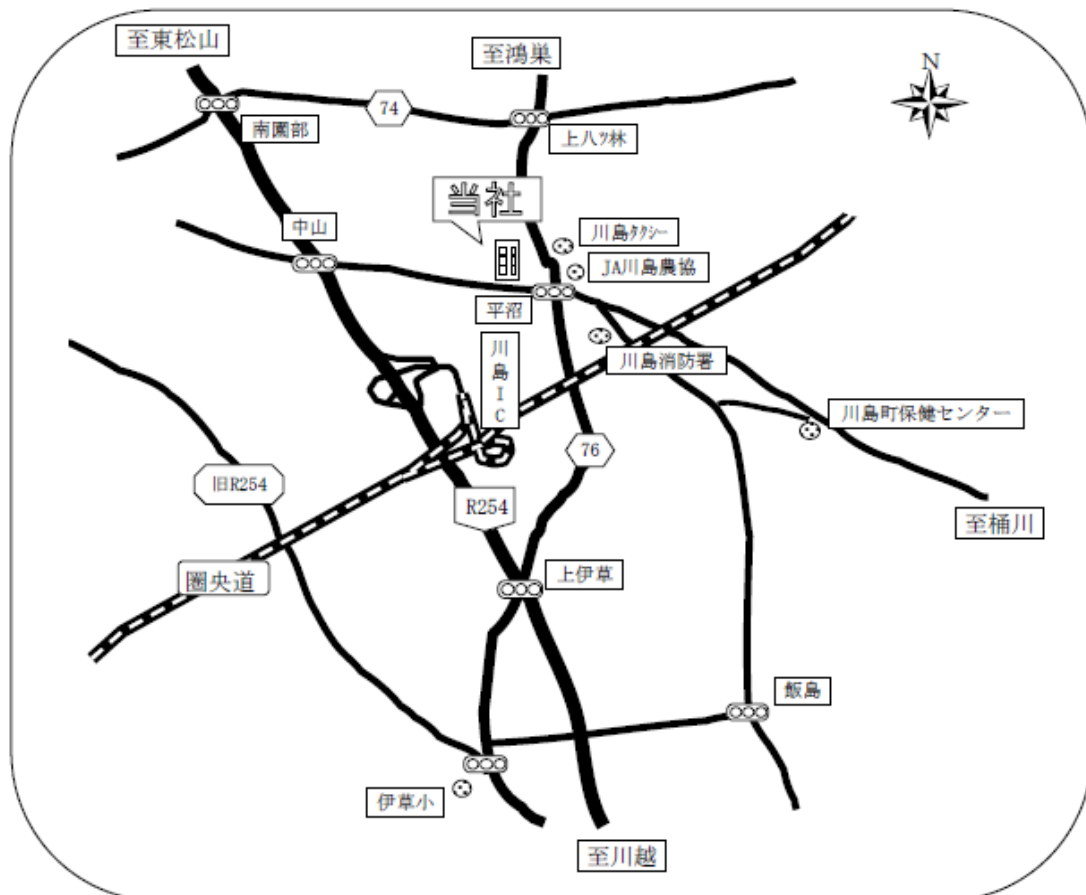
### <交通機関>

#### 電車の場合

- 東武東上線川越駅東口下車 バスまたはタクシーで約30分 川島農協前下車  
(バスのご利用は次頁参照)
- JR高崎線桶川駅西口下車 タクシーで約25分 川島農協前下車  
(バスの運行はございません)
- JR高崎線鴻巣駅東口下車 バスまたはタクシーで約25分 川島農協前下車  
(バスのご利用は次頁参照)

#### 車の場合

- 東京方面から  
関越自動車道下り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ  
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)
- 群馬方面から  
関越自動車道上り～東松山ICより国道254号線を川越・川島方面へ  
『中山』交差点を左折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (東松山ICより約25分)  
関越自動車道上り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ  
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)
- 栃木・茨城方面から  
東北自動車道上り～久喜白岡JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ  
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)



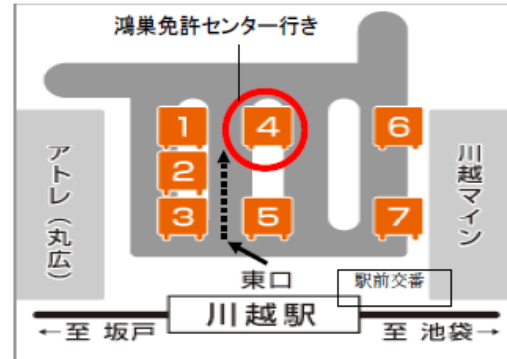
<公共交通機関>

- 川越駅 バス乗り場：4番乗り場（川越03 鴻巣免許センター, 鴻巣駅, 新荒子行き）  
 駅改札側「東口」正面 左から2番目の階段を降りる  
 （所要時間 駅改札から1~2分程度）  
 運賃：420円 所要時間：約30分

川越駅発  
 鴻巣免許センター, 鴻巣駅西口  
 川島農協前下車

時	分
8	
9	
10	25
11	
12	
13	29
14	29
15	16

(2018. 1. 11現在)



- 鴻巣駅 バス乗り場：1番乗り場（川越03 川越駅行き）  
 駅改札左側「西口」の階段を降りる  
 運賃：460円 所要時間：約25分

鴻巣駅西口発 川越駅行き  
 川島農協前下車

時	分
8	19, 57
9	30
10	
11	
12	00
13	
14	
15	00, 29

(2018. 1. 11現在)



◇お帰り

川越駅行き

時	分
10	
11	
12	18
13	
14	
15	18, 47
16	18
17	06
18	06, 58

(2018. 1. 11現在)

鴻巣駅行き

時	分
10	50
11	
12	
13	54
14	54
15	41
16	
17	35
18	

(2018. 1. 11現在)

- ・バスの本数が少ないため、最寄駅からタクシーのご利用をお奨め致します。
- ・もし、お車でご来場の方は、駐車台数に限りがあるため、申込み時に台数をお知らせください。（駐車場の状況により、お断りする場合がございます。）

<参考> 見学概要

	<p>◆<b>展示室案内</b></p> <p>異常気象や社会環境が変化に伴い新たに必要とされてきたマンホールふたの安全性能やその必要性について紹介します。</p>
	<p>◆<b>輪荷重走行試験</b></p> <p>道路に設置されたマンホールふたが、繰り返し通行する車両の影響を受ける過酷な環境下で、長い年月が経っても安全であるか否か確認をする試験を紹介します。</p>
	<p>◆<b>耐スリップ性試験</b></p> <p>マンホールふた表面のすべり抵抗の評価について、米国材料試験協会(ASTM)に登録されている路面の滑り抵抗を測定する試験機をマンホールふた用に改良したポータブルで高精度な試験機を用いて紹介します。</p>
	<p>◆<b>材質試験</b></p> <p>日本下水道協会規格(G-4)で規定されているマンホールふたの材質(FCD：球状黒鉛鋳鉄)試験、及び、マンホールふたの性能との関連性について紹介します。</p>
	<p>◆<b>水理モデル実験</b></p> <p>普段は地下に埋まって見ることができない下水道管路施設を忠実に再現し、見える化した施設において、「下水道マンホール安全対策の手引き(案)/日本下水道協会」に掲載されているマンホールふたの浮上・飛散現象に繋がる水理事例に基づいた実験を行い、豪雨時に下水道管路内に流れる水や空気の動き、その時にマンホールふたに起きる現象を見ていただきます。</p>
	<p>◆<b>浮上試験</b></p> <p>水理モデル実験で再現した豪雨時の下水道管路内の現象を実際のマンホールふたで再現します。浮上防止機能付きと機能の無いマンホールふたの2種類で実験を行い、比較確認をします。</p>